

# 小唄小港岡笠

## 方踊り



制定 岡笠町 観光協会 同

山田定男 作詞  
西條八十 補作  
平川英夫 作編曲

## 笠岡港小唄

一、明日は出船と うち明けられて  
つゝのる想いの 浜千鳥  
乙女十八 涙を染めて  
花も散ります 古城山  
え、可愛い笠岡 忘らりよか サ  
二海銀座は 日本にひとつ  
一度あいでよ 涼み船  
島の娘の 小粋な踊り  
月に眺めて 島めぐり  
え、可愛い笠岡 忘らりよか サ

三恋のとも綱 すげなくきって  
君は出てゆく 時雨舟  
休石には 名残りを惜しみ  
秋の燕も とまるのに  
え、可愛い笠岡 忘らりよか サ  
田景色うつくし 人情は優し  
のびる笠岡 よい港  
泊るひと夜が つい重なれば  
浮気やさせぬと 忝かい船  
え、可愛い笠岡 忘らりよか サ

唄 久保幸江  
鶴田大郎  
コロムビア オートケストラ  
三味線 豊吉

# 「笠岡港小唄」

## 踊り方
















振付者  
花柳啓之

笠岡

◎この踊りは「炭坑船」「東京音頭」と全じよりに円陣を作つて踊ります。音楽、唄、如何なるところから踊り出してかまいません。① 図より⑮ 図までを繰返し、リズムに合せて朗かに踊つて下さい。

◎円陣の進行方向は右廻りでも左廻りでも差支ありません

(四歩前進) 二歩後退 (四歩前進)

<p>① 明日は出船と (涙を)</p>  <p>両足を揃へてまへに立 て両手を胸の辺り でナヨナヨヨンガラ ヨンヒニツ拍手する ▲は拍手の印</p>	<p>② うち (染め)</p>  <p>両手を頭の上へ高 文をするように高 く上げて右足一歩 前進</p>	<p>③ あけ (てー)</p>  <p>両手を一度降ろし て又前図と全じよ うに頭の上へ高文 をするように上げ て左足一歩前進</p>	<p>④ られ (はなも)</p>  <p>② 図と全じ 右足一歩前進</p>	<p>⑤ てー (散ります)</p>  <p>③ 図と全じ 左足一歩前進</p>	<p>⑥ ころる (古殿)</p>  <p>両手を左横へ揃 へて斜に降ろし 左足一歩後退</p>	<p>⑦ 想ひの (出)</p>  <p>前の反対動作両手 右脇へ揃へて降ろ し右足一歩後退</p>	<p>⑧ はま (えー)</p>  <p>両手を胸のところが へ一度合せて平泳 ぎの様に横へ大き く一文字に開いて 右足一歩前進</p>
<p>⑨ ちー (えー)</p>  <p>⑧ 図と全じよりに 両手を一度胸の所 へ合せて横に大き く一文字に開き左 足一歩前進</p>	<p>⑩ びー (可愛い)</p>  <p>⑧ 図と全じ 右足一歩前進</p>	<p>⑪ リー (笠岡)</p>  <p>⑨ 図と全じ 左足一歩前進</p>	<p>⑫ おー (わす)</p>  <p>右手を頭の辺まで上 げて左手掌軽く右手 肉節の辺を押しへて右 足一歩前進と全時に 右足先にて軽くト ンと踏む</p>	<p>⑬ とめ (ら)</p>  <p>⑫ 図の反対動作左手頭の 辺へ上げ右手掌左 手肉節を軽く押しへ て左足一歩前進と 全時に右足先にて 軽くトンと踏む</p>	<p>⑭ + (じょー)</p>  <p>⑫ 図と全じ</p>	<p>⑮ 八 (かーサ)</p>  <p>⑬ 図と全じ</p>	



# 小唄港岡笠

西條八十補詞

(山田定男作詞)

平川英夫作曲

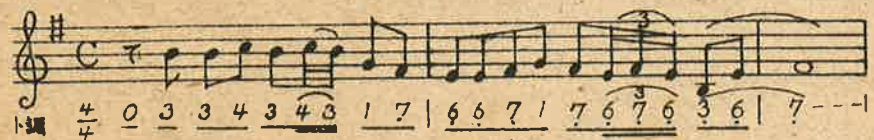


平川



# 笠岡港小唄

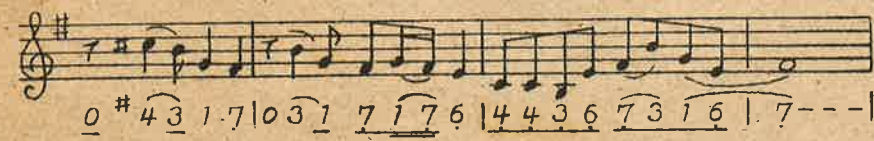
おちついて 余り早くなく情緒ゆたかに



0 3 3 4 3 4 3 1 7 | 6 6 7 1 7 6 7 6 3 6 | 7 --- |  
 1 あすは下ぶねと うちあけら ねーて  
 2 うみのさんざは にほんにひ とーつ

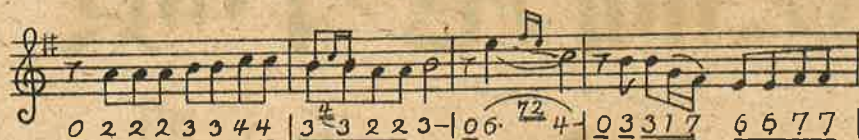


0 6 7 1 7 6 7 6 4 3 | 0 2 3 4 3 7 2 | 3 --- |  
 つのるおもーいの はまーちどーり  
 いちどおいーでよ すすーみぶーね



0 # 4 3 1 7 | 0 3 1 7 1 7 6 | 4 4 3 6 7 3 1 6 | 7 --- |  
 おーどめ じゆはーちなみだをそーめーて  
 しーまの むすめーの こいきなおーどーり

# 西條八十補詞 (山田定男作詞) 平川英夫作曲



0 2 2 2 3 3 4 4 | 3 3 2 2 3 | 0 6 7 2 4 | 0 3 3 1 7 6 6 7 7 |  
 はなもちります こじょうざん え え かわいーかさおか  
 つきにながめてしまめぐり え え かわいーかさおか



0 3 3 1 7 6 7 | 6 4 3 6 --- ||  
 わす らりよーかーサ  
 わす らりよーかーサ

## 笠岡港小唄

- 一 明日は出船と うち明けりれて  
つる想いの 浜千鳥
- 乙女十八 涙を染めて  
花も散ります 古城山
- 元々可愛い笠岡 忘れりよかサ
- 二 海の銀座は 日本にひとつ  
一度おいでよ 涼み船
- 島の娘の小粋なおどり  
月に眺めて 島めぐり
- 元々可愛い笠岡 忘れりよかサ
- 三 恋のとも綱 すげなくきつて  
君は出てゆく 時雨舟
- 休石には 名残りを惜しみ  
秋の燕も とまるのに
- 元々可愛い笠岡 忘れりよかサ
- 四 景色うつろし 人情は優し  
のびる笠岡 よい港
- 泊るひと夜か つい重なるは  
浮気やせぬと 迎い船
- 元々可愛い笠岡 忘れりよかサ